

PRESS RELEASE



2023年4月3日
発信No.202301

<優れた独創的研究>を行う若手研究者に授与される「木原財団学術賞」の
第31回の受賞者を発表！

微細藻類研究系で
世界をリードする

「細胞内共生による光合成生物の誕生と進化」の研究に！
国立遺伝学研究所 宮城島 進也氏

(公財)木原記念横浜生命科学振興財団(理事長 大野泰雄)では、第31回木原記念財団学術賞の受賞者を決定しました。(4月1日公表)

今回の受賞者は、世界で例を見ない独創的なアプローチにより、「細胞内共生の実験生物学」という新たな分野を切り開き、今後も国際レベルで本分野の先導が期待される宮城島進也氏(47歳)です。

受賞者



氏名:宮城島 進也 (みやぎしま しんや) 氏

所属:大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立遺伝学研究所
共生細胞進化研究室

役職:教授

授賞課題 「細胞内共生による光合成生物の成立機構」

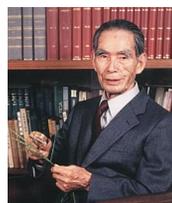
木原財団学術賞は、生命科学の分野で優れた独創的研究を行い今後のさらなる発展が大きく期待される若手の研究者(50歳以下)を対象としています。大きな特徴は「独創的研究」「対象とする研究課題で著名な賞をうけていないこと」。

光が当たりづらい、独創的な基礎研究を貫き突き進む研究者を顕彰し励ますことを目的としています。

開始:1992年 応募方法:他薦

賞の内容:原則として毎年1名、賞状、賞金200万円、記念牌を贈呈

木原記念財団



ゲノム説を確立し世界的な業績を残された遺伝学者で、オリンピック選手団団長※を2回務めた、故木原均博士を記念し、1985年3月に横浜で設立。ライフサイエンス分野を専門に、研究開発の支援や、ビジネス支援を非営利で行っています。 **一研究者・起業家と共に未来へ**

※第8回、第9回冬季オリンピック

(お問い合わせ先)

(公財)木原記念横浜生命科学振興財団 学術賞担当:鈴木、渡部
〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6
TEL 045-502-4810 FAX 045-502-9810
e-mail: kihara@kihara.or.jp

WEBサイトはこ
ちらから。



授賞理由 ※抜粋※

細胞内エネルギー産出器官であるミトコンドリアと、葉緑体は、太古の昔に各々が真核細胞の祖先に細胞内共生することで誕生した。我々の進化の根源にあるこの細胞内共生についての謎、「いかにして細胞内共生が確立したか」は、生物学における根本的な問いの一つであるが、太古の昔に完成してしまったシステムを明らかにするのは、非常に困難であった。宮城島氏は、この困難な問題に、主として多様な進化過程にある藻類を用いて、実験的に明らかにしようと試み、重要な成果を挙げてきた。

宮城島氏は世界でも例を見ない独創的なアプローチにより、細胞内共生の実験生物学という新たな分野を開拓し、今後も国際レベルで本分野を先導することが期待される。また、低炭素社会の実現テーマで研究代表を務め、研究成果の社会実装にも貢献している。以上の理由から宮城島進也氏に第31回木原記念財団学術賞を授与することを決定※した。 ※学識経験者による選考委員会の議を経て財団理事会で決議

記念講演会は、8月以降にオンラインで開催する予定です。

木原記念財団学術賞等 過去10年の受賞者一覧

受賞回	受賞者	受賞時の職位	研究課題
30	杉本 慶子	理化学研究所 環境資源科学研究センター チームリーダー	植物の器官形成を司る分子機構の解明
29	吉村 崇	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授	脊椎動物の季節適応機構の解明
28	北野 潤	国立遺伝学研究所 ゲノム・進化研究系教授	野生動物の表現型多様化の原因遺伝子の解明
27	佐藤 健	群馬大学 生体調節研究所 所長	受精における細胞内オルガネラ変換機構などの発見
26	鈴木 勉	東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授	RNA修飾の生物学的な役割の解明
25	東山 哲也	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授	植物受精において花粉管誘引を司る分子群の発見
24	前島 一博	国立遺伝学研究所・構造遺伝学研究センター教授	細胞内ゲノムDNAの折り畳み構造の解明
23	芦苺 基行	名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授	イネの遺伝学研究による植物成長機構の解明と分子育種
23	水島 徹 (応用科学賞)	慶應義塾大学薬学部創薬科学講座主任教授	温故知新創薬研究基盤の確立と実践
22	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科 教授	神経幹細胞の運命を制御する分子機構
21	木下 哲	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学科 客員教授	植物生殖過程におけるエピゲノム制御と生殖隔離機構
21	永井 健治 (応用科学賞)	大阪大学 産業科学研究所 教授	蛍光タンパク質エンジニアリングに基づく革新的バイオイメージング技術の開発